

原 安 第 2 6 1 号
令和 5 年 8 月 1 4 日

唐津市長 峰 達郎 様

佐賀県知事 山口 祥義



原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条に基づく連絡内容について
(通知)

このことについて、原子力発電所の安全確保に関する協定書第5条（平常時における連絡）に基づき、以下のとおり九州電力株式会社から連絡を受けたので、平成18年3月26日付けで交換した「原子力発電所の安全確保に関する協定書に係る佐賀県と唐津市の確認書」に基づき、通知します。

- 1 玄海原子力発電所3号機の第3回安全性向上評価について
〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2023年7月10日付け 立コミ本第124号〕・・・(別添1)
- 2 玄海原子力発電所4号機 原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）の輸送容器等の輸送について（搬入）
〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2023年7月21日付け 立コミ本第134号〕・・・(別添2)
- 3 協定書の覚書に基づく連絡について
〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2023年7月31日付け 立コミ本第144号〕・・・(別添3)
- 4 玄海原子力発電所4号機 照射試験片輸送容器付属品（上部駆動装置）の輸送について
〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2023年7月31日付け 立コミ本第156号〕・・・(別添4)



5 協定書の覚書に基づく連絡について

〔佐賀県知事宛て 九州電力(株)代表取締役社長執行役員名
2023年8月8日付け 立コミ本第165号〕・・・(別添5)

別 添 1

立コミ本第124号

2023年7月10日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社
代表取締役 池 辺 和
社長執行役員

玄海原子力発電所3号機の第3回安全性向上評価について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」に基づき、玄海原子力発電所3号機の第3回安全性向上評価を実施し、今後の取組み計画をとりまとめ、本日、原子力規制委員会へ届出書を提出しました。

つきましては、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、別紙のとおりご連絡申し上げます。

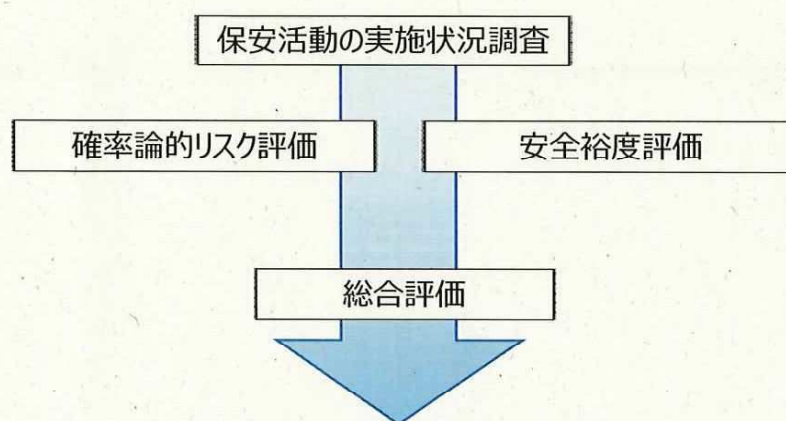
今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

玄海原子力発電所3号機 第3回安全性向上評価届出書の概要

1 安全性向上評価について

安全性向上評価は、自主的かつ継続的に原子炉施設の安全性及び信頼性を向上させることを目的とし、原子力発電所のリスクを合理的に実行可能な限り低減することを目標に以下の流れで実施した。



《更なる安全性向上対策の抽出・実施》

- 安全性向上に資する設備対策
- 安全性向上に資する運用面の対策

2 安全性向上評価届出書の概要について

第1章 安全規制によって法令への適合性が確認された範囲

- ・ 第16回定期検査終了時点（2023年1月10日）の発電所設備等の最新状態を記載

第2章 安全性の向上のため自主的に講じた措置

- ・ 保安活動の実績、最新の科学的・技術的知見の反映状況を調査し、この結果から抽出した更なる安全性向上対策を記載

第3章 安全性の向上のため自主的に講じた措置の調査及び分析

- ・ 特定重大事故等対処施設の運用開始に伴い、本施設の活用によるリスク低減効果を確率論的リスク評価等で評価し、評価結果から抽出した更なる安全性向上対策を記載
- ・ 最新の国内外の知見等を参考に、プラントの安全性について中長期的な観点から有効性レビューを実施する必要があると判断し、評価を行う準備が整ったことから今回評価を実施し、評価結果から抽出した更なる安全性向上対策を記載

第4章 総合的な評定

- ・ 保安活動の実施状況調査、確率論的リスク評価、安全裕度評価等の評価結果を踏まえ、総合評定を実施し、策定した安全性向上計画を記載

3 総合的な評定

(1) 総合評定

- ・評価結果から抽出した更なる安全性向上対策については、プラントの更なる安全性向上に資するものと評価した。
- ・今後も、保安活動の確実な実施を基本に、安全性向上評価の仕組みを活用しつつ、原子力発電所のリスクを合理的に実行可能な限り低減させていく。

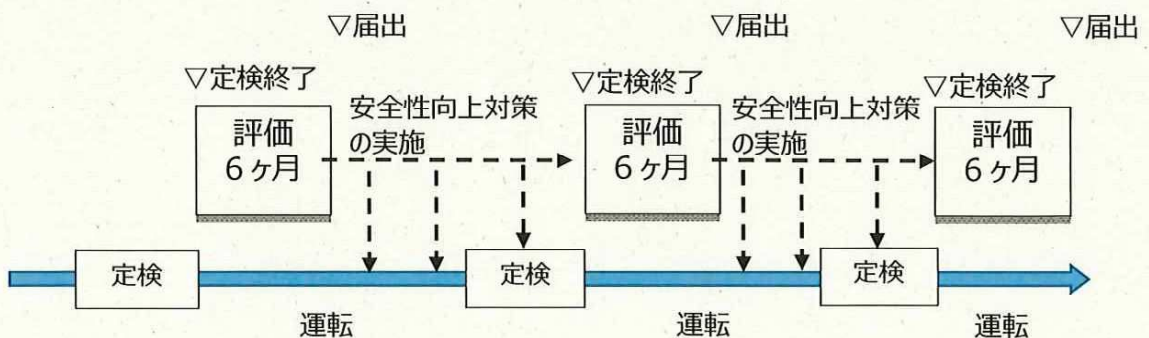
(2) 評価結果から抽出した更なる安全性向上対策

更なる安全性向上対策	概要	実施時期
① デジタル安全保護回路のソフトウェア共通要因故障対策	運転時の異常を検知し、原子炉の停止等を行うデジタル安全保護回路について、デジタル設備のソフトウェアが不測の事態により一斉に機能喪失するリスクに備え、ソフトウェアを必要とせず動作原理が異なるバックアップ回路を追加設置する。	2023年度 (第17回定期検査)
非常用炉心冷却設備の切替操作の自動化	リスク低減の観点から、非常用炉心冷却設備の取水源切替操作を自動化する。	2023年度 (第17回定期検査) にて成立性等の 確認実施
非常用炉心冷却設備の切替操作に係る教育・訓練の継続	自動切替設備の有無に関わらず、今後も継続的に切替手順に係る教育・訓練を実施し、事故対応に万全を期す。	継続実施
② 蒸気発生器の隔離操作等に関する教育・訓練の実施	運転員の意識や事故対応能力向上の観点から、重要度の高い運転操作に関する教育・訓練を重点的に実施する。	適宜実施
特定重大事故等対処施設の活用に関する教育	事故時の対応手段の多様化など、特定重大事故等対処施設の活用が有効であると評価できたため、この活用方法について教育を実施し、事故対応能力の向上を図る。	適宜実施

更なる安全性向上対策	概要	実施時期	
③	設備保全管理システム（EAM）を活用した保安活動の記録等の共有	EAMに設計基準図書や保全管理に係る情報、安全上重要な機器等の記録を電子化・一元化し、アクセス性向上を図る。	2023年度以降
	確率論的リスク評価モデルの高度化や最新の図面・手順書の反映	発電所の状況に沿ったより精緻な評価を実施するため、国内外の知見の反映や、最新の設備の図面及び手順書を反映した地震・津波時の確率論的リスク評価モデルの構築を検討する。	第5回届出時
	EAMを活用したパフォーマンス指標（PI）評価の運用性向上及び評価手法の改善	本店や発電所内の幅広い共有を図るため、EAM活用によるPI全体の傾向分析結果の運用性向上（アクセス性向上）及び評価手法の改善を図る。	2023年度以降
	リスク情報活用に係る体系的な教育	確率論的リスク評価を含めリスク情報活用に係る体系的な教育を強化する。	2023年度以降

- ①：第2章のうち、保安活動の調査結果等から抽出された安全性向上対策
 ②：第3章のうち、確率論的リスク評価等から抽出された安全性向上対策
 ③：第3章のうち、中長期的な観点から有効性レビューを実施し、抽出された安全性向上対策

(参考) 安全性向上評価による継続的な取組みの流れ



○ 用語説明

・確率論的リスク評価

事故を想定した場合の炉心損傷や格納容器機能喪失のリスク（発生頻度とその影響）を、原子炉施設において発生しうる様々な事象の発生確率を考慮して定量的に評価するもの。

・安全裕度評価

地震等の自然現象に対して、設計値を超え、どの程度まで炉心及び使用済燃料の著しい損傷を発生させることなく、耐えることができるかを評価するもの。

・ソフトウェア共通要因故障

ソフトウェアの不具合により、多重化されているデジタル安全保護回路が同時に故障する状態。

・非常用炉心冷却設備

原子炉を冷却する配管などが破断し、冷却水が漏れ出るような事故が起きた場合などに、自動的に原子炉へ冷却水を注入する設備。

・設備保全管理システム（EAM）

発電所の設備・資産管理を支援するソフトウェア。本システムを活用することで、設備保全に必要な情報（点検計画や図書等）が一つのデータベースで参照・連携され、点検対象の自動抽出による業務効率化が可能となる。

・パフォーマンス指標（P I）

原子力発電所の各業務分野におけるパフォーマンスを監視するための指標。これらの傾向を監視、測定、分析、評価することで自らの活動のパフォーマンスを改善する。

以上

別 添 2

立コミ本第134号

2023年7月21日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

池 辺 和

社長執行役員

玄海原子力発電所4号機 原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）の
輸送容器等の輸送について（搬入）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、玄海原子力発電所4号機の原子炉容器照射試験片（サーベイランス
キャプセル）の輸送容器等の輸送について、別紙のとおり計画しておりますので、

「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

(別紙)

「原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）輸送容器
及びその付属品（上部駆動装置）」の輸送について（搬入）

玄海原子力発電所4号機の原子炉容器内に装荷されていた原子炉容器照射試験片を輸送するため、原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）輸送容器及びその付属品（上部駆動装置）をMHI原子力研究開発株式会社から玄海原子力発電所へ輸送します。

1. 輸送区間

輸送元：MHI 原子力研究開発株式会社（茨城県那珂郡東海村舟石川 622 番地 12）

輸送先：九州電力株式会社 玄海原子力発電所（佐賀県東松浦郡玄海町大字今村字浅湖 4112-1）

2. 輸送期間（予定）

発送年月日：2023年7月24日（月）

到着年月日：2023年7月26日（水）

3. 輸送物等

(1) 輸送品

原子炉容器照射試験片（サーベイランスキャプセル）輸送容器

輸送容器付属品（上部駆動装置）

(2) 輸送方法

陸上輸送（14tトラック：1台）

輸送業者

・統括者：三菱重工業株式会社

・責任者：株式会社 上組

(3) 輸送容器

a. L型輸送容器 2個

b. 寸法、重量及び放射エネルギー

容器No.	型式	容器寸法	重量 (取納品含む)	放射エネルギー (⁶⁰ Co 換算量)	線量当量率 (容器表面)	備考
1	L型	φ1,084mm×3,243mm	約11,000kg	5.16×10 ⁵ Bq	<1μSv/h	原子炉容器 照射試験片 (サーベイランスキャプセル) 輸送容器
2	L型	1,400mm×850mm×600mm	約600kg	7.60×10 ⁴ Bq	<1μSv/h	輸送容器付属品 (上部駆動装置)

以上

立コミ本第144号

2023年 7月31日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池 辺 和 弘

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条に基づき、別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1. 環境保全測定報告書 | (月 報) |
| 2. 発 電 実 績 | (月 報) |
| 3. 核燃料物質の消費状況 | (月 報) |
| 4. 放射性廃棄物の管理状況 | (月 報) |
| 5. 環境放射能の測定結果
モニタリングポスト | (月 報) |
| 6. 廃止措置の実施状況 | (月 報) |
| 7. 核燃料物質の管理状況 | (期 報) |
| 8. 一次冷却材報告書 | (四半期報) |
| 9. 環境放射能の測定結果 | |
| (1) モニタリングポイント | (四半期報) |
| (2) サーベイルート | (期 報) |
| (3) 環 境 試 料 | (四半期報) |
| 10. 発電所職員等に対する教育訓練の実施状況 | (四半期報) |

以 上

環境保全測定報告書

2023 年 6 月分

九州電力株式会社

1. 補助ボイラ用重油のいおう分

重油いおう分 (%)	玄海 1・2号機	玄海 3・4号機
	0.06	0.05

2. 排水処理施設出口排水の水質

玄海 1・2号機					玄海 3・4号機				
測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2	測定月日	水素イオン濃度*1	化学的酸素要求量 (mg/l)*1	浮遊物質量 (mg/l)*2	油分 (mg/l)*2
6月 7日	7.2	0.5	—	—	6月 7日	6.6	1.9	—	—
6月14日	7.4	0.8	—	—	6月14日	7.0	1.1	—	—
6月21日	7.6	1.3	0.5	検出せず	6月21日	7.1	1.1	0.0	検出せず
6月28日	7.5	0.9	—	—	6月28日	6.7	1.8	—	—

*1 毎週1回以上の測定

*2 毎月1回以上の測定

3. 取放水口の海水温度および放水の残留塩素

	玄海1・2号機			玄海3号機			玄海4号機		
	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)	取水口の温度 (°C)	放水口の温度 (°C)	放水の残留塩素 (mg/l)
*1 6月 9日	21.0	20.1	検出せず	19.8	26.8	検出せず	19.8	26.7	検出せず
6月20日	24.0	21.4	検出せず	21.3	28.3	検出せず	21.3	28.2	検出せず
6月30日	25.6	24.1	検出せず	24.2	31.2	検出せず	24.2	31.0	検出せず

*1 10日が休日のため、9日の測定結果を報告。

発 電 実 績

2023年6月分

九州電力株式会社

号機		※1		※2		3号機	4号機	発電所合計
		1号機	2号機	3号機	4号機			
最大出力	kW	—	—	1,180,000	1,180,000	2,360,000		
発電日数	日	—	—	30	30	30		
発電時間数	時間	—	—	720	720	720		
電 力 量	発電端	10 ³ kWh	—	—	869,074	861,349	1,730,423	
	所内消費	10 ³ kWh	1,350	1,378	34,337	32,877	69,942	
	送電端	10 ³ kWh	-1,350	-1,378	834,737	828,472	1,660,481	
最大電力	kW	—	—	1,209,000	1,198,000	2,407,000		
平均最大電力	kW	—	—	1,208,500	1,197,400	2,405,700		
平均電力	kW	—	—	1,207,047	1,196,318	2,403,365		
負荷率	%	—	—	99.8	99.9	99.8		
利用率	%	—	—	102.3	101.4	101.8		

※1 2015年4月27日運転終了

※2 2019年4月9日運転終了

核燃料物質の消費状況

2023年

6月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所1号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末発荷量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)		
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,075	324	326	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42,466	384	487	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	64,681	1,414	595	0	0
													(87)				
													(113)				
													(168)				
													(368)				
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	140,223	2,122	1,408	0	0

(注) 2015年4月27日運転終了
(注) ()内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2023年

6月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所2号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内入量		月末在庫量 (炉内入用)		月末在庫量				炉外取出量				月末在庫量 (私出用)		熱消費量 (10 ⁹ kJ)	核燃料物質消費量 (kg)	
	ウランの量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)	ウランの量 (kg)	燃焼度 (10 ³ kWd/t)			ウランの量 (kg)
3.40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4.80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注) 2019年4月9日運転終了
(注) ()内は燃料集合体数を示す。

核燃料物質の消費状況

2023年

6月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所3号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 モウ入量			月末装荷量			炉外取出量			月末在庫量 (私出用)			熱消費量 (10^3 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)			
	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)	ウランの量 (kg)	ウラン235の量 (kg)	プルトニウムの量 (kg)					
2.00	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29,209	233	205	0	0
3.50	0	0	---	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,828	59	91	0	0
4.10	0	0	---	(94)	83,357	582	21,214	0	0	0	0	0	260,733	2,961	2,931	8,691	106
(MOX) 4.10	0	0	0	(4)	1,646	3	33,952	0	0	0	0	0	(32)	20	1,024	124	2
合計	0	0	0	(94)	85,003	709	7,717	0	0	0	0	0	310,896	3,272	4,251	8,815	107

(注) ()内は燃料集合体数を示す。
* 約4.1wt%濃縮ウラン相当以下

核燃料物質の消費状況

2023年

6月分

九州電力株式会社
(玄海原子力発電所4号炉)

初期濃縮度 (%)	炉内 そう入量		月末在庫量 (炉内そう入用)		月末装置量				炉外取出量				月末在庫量 (払出用)			熱消費量 (10^9 kJ)	核燃料物質消費量 (kg)
	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	プルトニウム の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)	プルトニウム の量 (kg)	燃焼度 (10^3 kWd/t)	ウラン の量 (kg)	ウラン 235 の量 (kg)		
2.00	0	0	(1)	453	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,765	195	220	0
3.50	0	0	(122)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28,186	286	304	0
4.10	0	0	(193)	85,503	2,096	576	18,828	0	0	0	0	0	0	339,817	3,611	3,878	8,815
合計	0	0	(123)	85,503	2,096	576	5,423	0	0	0	0	0	0	396,768	4,092	4,402	8,815

(注) () 内は燃料集合体数を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2023年6月分

玄海原子力発電所1号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし	放出実績なし

※ 1、2号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本) (焼却処理等による減少分)	累積貯蔵量(本)
341 (-127)	39,325

(注) 200ℓドラム缶相当本数で示す。

※ 1、2、3、4号炉計の値を示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2023年6月分

玄海原子力発電所2号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 1、2号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に表示。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2023年6月分

玄海原子力発電所3号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
N D	N D	N D	N D

(注) ND:検出限界値未満を示す。

※ 3、4号炉計の値を示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

放射 性 廃 棄 物 の 管 理 状 況

2023年6月分

玄海原子力発電所4号炉

九州電力株式会社

(1) 気体廃棄物

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排気口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
ND	ND	ND	ND

(注) ND: 検出限界値未満を示す。

(2) 液体廃棄物※

放出量 (Bq)	累積放出量(Bq) (4月1日より)	3月間の排水口濃度(Bq/cm ³)	
		平均値	最大値
—	—	—	—

※ 3、4号炉計(共用設備)を3号炉分に示す。

(3) 固体廃棄物※

発生量(本)	累積貯蔵量(本)
—	—

※ 1、2、3、4号炉計(共用設備)を1号炉分に示す。

環境放射能測定結果

(2023 年 6 月分)

2023 年 7 月

九州電力株式会社

空間線量率測定結果(モニタリングステーション)

2023 年 6 月分

九州電力株式会社

測定場所 ステーション

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	27	24	25	16	25	24	24
2	27	24	25	17	25	24	24
3	25	24	24	18	26	24	24
4	25	24	24	19	25	24	24
5	27	24	25	20	25	24	25
6	41	24	31	21	52	24	33
7	24	24	24	22	25	24	24
8	33	24	26	23	25	24	24
9	25	24	24	24	25	24	24
10	27	24	25	25	32	24	27
11	25	24	24	26	27	23	24
12	25	24	24	27	24	23	23
13	25	24	24	28	24	23	23
14	25	24	24	29	24	23	23
15	25	24	24	30	36	23	25
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2023 年 6 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-1(岸壁)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	24	22	23	16	23	22	22
2	25	22	23	17	22	22	22
3	23	22	22	18	23	21	22
4	23	22	22	19	22	22	22
5	24	22	23	20	23	22	22
6	37	22	28	21	48	22	30
7	23	22	22	22	23	22	22
8	30	22	24	23	23	22	22
9	23	22	22	24	22	22	22
10	25	22	23	25	29	22	24
11	23	22	22	26	25	21	21
12	22	22	22	27	21	21	21
13	23	22	22	28	21	21	21
14	22	21	22	29	21	21	21
15	23	22	22	30	34	21	23
				31	—	—	—

空間線量率測定結果(モニタリングポスト)

2023 年 6 月分

九州電力株式会社

測定場所 PC-2(ダム南)

日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)	日	最 高 (nGy/h)	最 低 (nGy/h)	平 均 (nGy/h)
1	26	23	24	16	23	23	23
2	26	23	23	17	24	23	23
3	24	23	23	18	25	23	23
4	24	23	23	19	24	22	23
5	26	23	24	20	24	23	23
6	40	23	30	21	53	23	29
7	23	23	23	22	24	23	23
8	32	23	25	23	23	23	23
9	23	23	23	24	23	23	23
10	26	23	24	25	31	23	26
11	24	23	23	26	26	22	22
12	23	23	23	27	22	22	22
13	23	23	23	28	23	22	22
14	24	22	23	29	22	22	22
15	23	23	23	30	37	22	24
				31	—	—	—

玄海1号機 廃止措置の実施状況
(2023年 6月分)

1 第1段階（解体工事準備期間）の進捗状況（注1）

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度			2024年度	2025年度
(1)系統除染	▼着工（7月13日）										
除染準備作業	[黒塗り]										
装置設置	[黒塗り]										
除染	[黒塗り]										
片付け（装置撤去）	[黒塗り]										
(2)汚染状況の調査	[黒塗り]										
線量当量率測定	[黒塗り]										
試料採取	[黒塗り]										
輸送・分析・評価	輸送・分析 [黒塗り] 評価 [黒塗り]										
(3)汚染のない設備の解体撤去	高圧給水加熱器 [黒塗り] 復水分離加熱器 [黒塗り] 低圧給水加熱器 [黒塗り] タービン建屋内機器保温材 [黒塗り] 復水ブーストポンプ等 [黒塗り] スチームコンバータ等 [黒塗り] 復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）等 [黒塗り] 主/所内変圧器等 [黒塗り] 脱気器/復水分離器返し弁等 [黒塗り]										
(4)使用済燃料搬出	搬出計画検討 [黒塗り]										
(5)新燃料搬出	輸送容器への取納方法検討・搬出準備 [黒塗り]										

2 今月の作業実績（注2）

(1) 系統除染
終了（2017.7.13～2018.12.11）

(2) 汚染状況の調査
終了（2017.8.29～2022.3.18）

(3) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2017.11.1～2026.3.31（予定）	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	復水脱塩装置（中和槽・排水槽排水設備）等解体撤去工事 ・2023.3.6～実施中

【解体撤去物の状況】（注3）

（単位：トン）

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	4.1	1025.4	4.1	1025.4	0
コンクリート類	0	47.1	0	47.1	0
その他	0.4	99.4	0.4	99.4	0

(4) 燃料搬出 (注4)

・2023年6月8日 新燃料28体を発電所から搬出

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海1号 使用済燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	240
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	240
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	112
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	112
玄海1号 新燃料	1号機 使用済燃料ピット	貯蔵量 (当初)	16
		搬出量 (前月末まで)	0
		搬出量 (今月分)	0
		貯蔵量 (今月末)	16
	1号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量 (当初)	64
		搬出量 (前月末まで)	36
		搬出量 (今月分)	28
		貯蔵量 (今月末)	0

(5) 放射性固体廃棄物 (注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂 (m ³)	0	6.425	0	0	6.425
固体廃棄物 (本)	0	762	0	0	762
均質固化体	0	20	0	0	20
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	0	742	0	0	742

(6) 放射線業務従事者の被ばく線量 (注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2017.4.19~2023.6.30] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.00	0.00	0.00	200.47

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (3) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (4) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2016年9月30日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2016年9月30日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (5) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2017.4.19)以降の1号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、系統除染で使用した樹脂の量(m³)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約5.2 m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m³)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m³)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,800本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めしていないものを含む。

(注6) 2 (6) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

玄海2号機 廃止措置の実施状況
(2023年 6月分)

1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況(注1)

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
(1)汚染状況の調査	[黒塗り]						
線量当量率測定	[黒塗り]						
試料採取	[黒塗り]						
輸送・分析・評価		[黒塗り]			輸送・分析	評価	
(2)汚染のない設備の解体撤去	▼着工(6月29日)	[黒塗り]					
	A,B湿分離加熱器等	油計量タンク	タービン建屋内機器保温材	高圧給水加熱器等	スチームコンバータ等	主/所内変圧器等	
		塵芥搬送装置等	復水器真空ポンプ	薬品ヤード	補給水処理設備等		
(3)使用済燃料搬出	[黒塗り]						
	[黒塗り]						
(4)新燃料搬出	[黒塗り]						
	[黒塗り]						

2 今月の作業実績(注2)

(1)汚染状況の調査

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
輸送・分析・評価	2021.7.1～ 2026.3.31(予定)	原子炉格納容器内外の放射化によるコンクリート、金属、及び二次的に汚染した配管、機器及び建屋の放射能濃度を確認するために採取した試料の分析及び評価を行う。	○分析 ・2021.7.1～実施中 ○評価 ・2022.3.25～実施中

(2) 汚染のない設備の解体撤去

工事名	作業期間	工事の概要	作業実績
2次系設備の解体撤去工事	2020.6.29～ 2026.3.31 (予定)	汚染のない管理区域外の2次系設備の解体撤去を実施する。	薬品ヤード解体撤去工事 ・2023.3.6～実施中

【解体撤去物の状況】(注3)

(単位:トン)

種類	発生量		処分量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
金属類	0	325.8	0	325.8	0
コンクリート類	13.3	42.3	13.3	42.3	0
その他	1.0	90.5	1.0	90.5	0

(3) 燃料搬出(注4)

・2023年6月8日 新燃料12体を発電所から搬出

分類	保管場所	項目	燃料体数
玄海2号 使用済燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	254
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	254
	4号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	168
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	168
玄海2号 新燃料	2号機 使用済燃料ピット	貯蔵量(当初)	28
		搬出量(前月末まで)	0
		搬出量(今月分)	0
		貯蔵量(今月末)	28
	2号機 新燃料貯蔵庫	貯蔵量(当初)	84
		搬出量(前月末まで)	72
		搬出量(今月分)	12
		貯蔵量(今月末)	0

(4) 放射性固体廃棄物(注5)

種類	発生量		減少量		保管量
	今月	累計	今月	累計	
使用済樹脂(m ³)	0	0	0	0	0
固体廃棄物(本)	0	332	0	16	316
均質固化体	0	19	0	0	19
充填固化体	0	0	0	0	0
雑固体	0	313	0	16	297

(5) 放射線業務従事者の被ばく線量(注6)

合計 (人・mSv)	今月		累計 (解体工事準備期間中) [2020.4.1～2023.6.30] (人・mSv)
	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)	
0.01	0.00	0.01	10.97

3 その他
・なし

記載要領について

(注1) 1 第1段階(解体工事準備期間)の進捗状況

- (1) 使用済燃料搬出の計画については、六ヶ所再処理工場の竣工状況を踏まえた搬出時期の検討を点線で記載する。
- (2) 新燃料搬出の計画については、新燃料を搬出するための輸送容器への収納方法等の技術的検討を点線で記載する。

(注2) 2 今月の作業実績

- (1) 「1 第1段階の進捗状況」に記載している主な工事の実績を記載する。

(注3) 2 (2) 汚染のない設備の解体撤去 【解体撤去物の状況】

- (1) 「発生量」は、設備を解体した際に計量した量(トン数)を記載する。
- (2) 「処分量」は、施設外に産業廃棄物又は有価物として搬出した量を記載する。
- (3) 「保管量」は、発生量と処分量の累計の差を記載する。

(注4) 2 (3) 燃料搬出

- (1) 「貯蔵量(当初)」は、廃止措置計画認可申請書に記載した、2019年3月31日時点の保管場所ごとの燃料体数を記載する。
- (2) 「搬出量(前月末まで)」は、2019年3月31日から前月末までに搬出した燃料体数(累計)を記載する。

(注5) 2 (4) 放射性固体廃棄物

- (1) 廃止措置計画認可(2020.3.18)以降の2号機における発生量(発電所全体量の内数)を記載する。
- (2) 「使用済樹脂」は、除染で使用した樹脂の量(m³)を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1m³】
- (3) 使用済樹脂の「発生量」は、使用済樹脂貯蔵タンクに受入れた量(m³)を記載する。
- (4) 使用済樹脂の「減少量」は、処理を実施した量(m³)を記載する。
- (5) 「固体廃棄物」は、200ℓドラム缶換算の本数を記載する。【廃止措置計画における推定発生量は約1,700本】
- (6) 固体廃棄物の「発生量」は、固体廃棄物貯蔵庫に保管した量(本数)を記載する。
- (7) 固体廃棄物の「減少量」は、施設内で処理または施設外に処分した量(本数)を記載する。
- (8) 「保管量」は、発生量と減少量の累計の差を記載する。
- (9) 「雑固体」には、200ℓドラム缶詰めていないものを含む。

(注6) 2 (5) 放射線業務従事者の被ばく線量

- (1) 被ばく線量は、警報付ポケット線量計の測定値(単位:mSv、小数点以下3桁目を四捨五入した小数点以下2桁)を集計して記載する。

核燃料物質の管理状況

2023年 1月～6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 1号炉
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事項		濃縮ウラン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期首在庫		151,349	2,653	1,408
期中増加	受入れ	0	0	0
	プルトニウム生成	0	0	0
	その他の増加	0	0	0
調整		0	0	0
計		151,349	2,653	1,408
期中減少	払出し	11,126	531	0
	核的損耗	0	0	0
	廃棄又は損失	0	0	0
	事故損失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期末在庫		140,223	2,122	1,408
調整		0	0	0
計		151,349	2,653	1,408
期末保管委託		0	0	0
期末運搬		0	0	0

核燃料物質の管理状況

2023年 1月～6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 2号炉
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事項		濃縮ウラン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期首在庫		177,659	2,969	1,568
期中増加	受入れ	0	0	0
	プルトニウム生成	0	0	0
	その他の増加	0	0	0
調整		0	0	0
計		177,659	2,969	1,568
期中減少	払出し	4,749	225	0
	核的損耗	0	0	0
	廃棄又は損失	0	0	0
	事故損失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期末在庫		172,910	2,744	1,568
調整		0	0	0
計		177,659	2,969	1,568
期末保管委託		0	0	0
期末運搬		0	0	0

核燃料物質の管理状況

2023年 1月～6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン, プルトニウム及び劣化ウラン
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 3号炉
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)

事項		濃縮ウラン, プルトニウム及び劣化ウラン		
		数 量		
		ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期首在庫		437,895	6,427	5,160
期中増加	受入れ	0	0	0
	プルトニウム生成			184
	その他の増加	0	0	0
調整		0	0	0
計		437,895	6,427	5,344
期中減少	払出し	0	0	0
	核的損耗	820	486	6*
	廃棄又は損失	0	0	0
	事故損失	0	0	0
	その他の減少	0	0	0
期末在庫		437,075	5,941	5,338
調整		0	0	0
計		437,895	6,427	5,344
期末保管委託		0	0	0
期末運搬		0	0	0

* MOX燃料の核的損耗量を示す。

核燃料物質の管理状況

2023年 1月～6月

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン	
工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所	
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村	
原子炉名		九州電力株式会社 玄海原子力発電所 4号炉	
事務上の連絡先	名称	九州電力株式会社 佐賀支店	
	所在地	佐賀市神野東二丁目3番6号 電話番号 (0952-33-1123)	
	連絡員の氏名	飯田 一寛 所属部署名 (地域対応グループ)	

事項	濃縮ウラン		
	数 量		
	ウランの量(kg)	ウラン235の量(kg)	プルトニウムの量(kg)
期首在庫	536,540	7,304	5,410
期中増加	受入れ	0	0
	プルトニウム生成		151
	その他の増加	0	0
調整	0	0	-1
計	536,540	7,304	5,560
期中減少	払出し	0	0
	核的損耗	650	392
	廃棄又は損失	0	0
	事故損失	0	0
	その他の減少	0	0
期末在庫	535,890	6,912	5,560
調整	0	0	0
計	536,540	7,304	5,560
期末保管委託	0	0	0
期末運搬	0	0	0

一 次 冷 却 材 報 告 書

2023 年度 第 1 四半期分

玄海原子力発電所 3号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	圧 力 MPa	流 量 T/h
4 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.4	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
5 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.4	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
6 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.5	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

一 次 冷 却 材 報 告 書

2023 年度 第 1 四半期分

玄海原子力発電所 4号炉

九州電力株式会社

		原 子 炉 本 体 入 口			原 子 炉 本 体 出 口		
		温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h	温 度 ℃	压 力 MPa	流 量 T/h
4 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.7	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
5 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.6	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
6 月	最 高	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100
	最 低	289.1	15.69	60,100	319.7	15.41	60,100
	平 均	289.3	15.69	60,100	322.1	15.41	60,100

環境放射能測定結果

(2023 年度第 1 四半期分)

2023 年 7 月

九州電力株式会社

第2023-1回

積算線量測定結果 (モニタリング・ポイント)

1 測定条件

(1) 測定素子 ガラス線量計 (AGCテクノグラス SC-1)

(2) 測定期間

2023年 4月 5日 ~ 2023年 7月 5日 (A)

2023年 4月 6日 ~ 2023年 7月 6日 (B)

A : 91日間 (2184時間)

B : 91日間 (2184時間)

(3) 事前アニール 実施年月日 2023年 4月 4日

実施場所 環境放射能測定室

(4) 読取条件 読取日時 2023年 7月 5日18時30分~

2023年 7月 6日18時33分

読取場所 環境放射能測定室

リーダ 旭テクノグラス FGD-202

(5) 備考

なし

2. 測定結果

ポイントNo. (場所)	積算線量 (mGy)		線量率換算値		備考
	測定値	91日間換算値	nGy/h	mGy/y	
P-1 (岸壁側)	0.11	0.11	52	0.46	B
P-2 (展示館)	0.14	0.14	62	0.54	B
P-3 (ステーション)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-4 (ダム北)	0.12	0.12	54	0.47	B
P-5 (ダム南)	0.12	0.12	54	0.47	B
P-11 (九電今村寮)	0.14	0.14	62	0.55	B
P-12 (外津)	0.13	0.13	60	0.53	B
P-13 (中通)	0.14	0.14	65	0.57	B
P-14 (旧値賀第1コミュニティセンター)	0.12	0.12	55	0.48	B
P-15 (池崎)	0.13	0.13	60	0.52	B
P-16 (串崎)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-17 (仮立)	0.13	0.13	58	0.51	B
P-31 (串浦)	0.13	0.13	58	0.50	B
P-32 (値賀川内)	0.13	0.13	60	0.53	B
P-33 (浜野浦)	0.12	0.12	53	0.46	B
P-34 (米納戸)	0.13	0.13	57	0.50	B
P-51 (名護屋)	0.11	0.11	52	0.46	B
P-52 (小加倉)	0.12	0.12	56	0.49	B
P-53 (仮屋公民館)	0.15	0.15	68	0.59	B
P-54 (有浦コミュニティセンター)	0.13	0.13	57	0.50	B
P-72 (石原)	0.13	0.13	59	0.52	B
P-73 (加部島B)	0.12	0.12	53	0.47	A
P-91 (加唐島B)	0.13	0.13	61	0.53	A
P-92 (馬渡島B)	0.12	0.12	57	0.50	A

第 2023 - 1 回
空間線量率測定結果 (サーベイルート)

1. 測定条件

測定器 : モニタリングカー フィールドモニタ (3"φ×3"NaI(Tl)シンチレーション検出器)

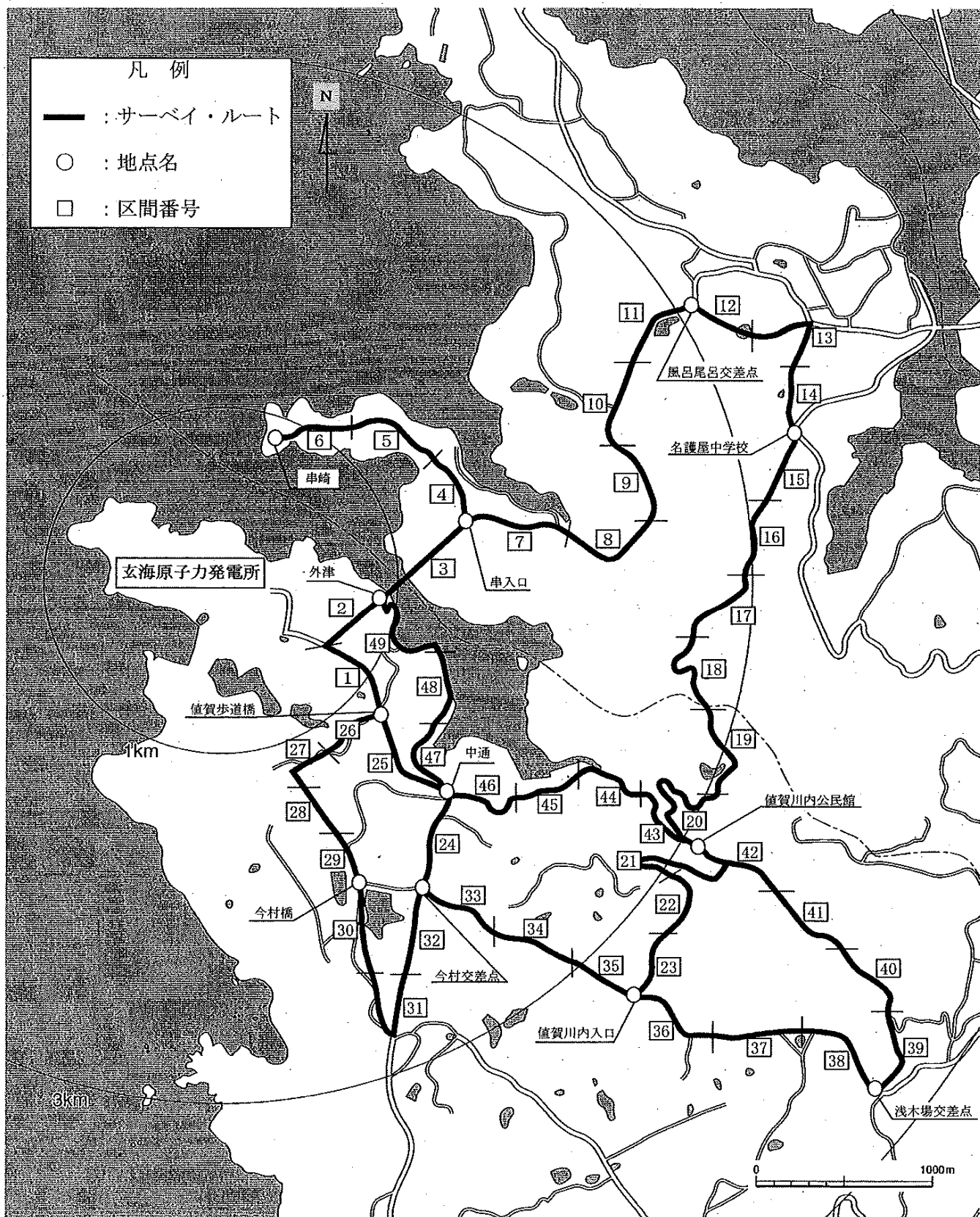
測定年月日 : 2023年6月7日

天 候 : 晴れ

2. 測定結果

区間名	区間No	平均値 (nGy/h)	備 考	区間名	区間No	平均値 (nGy/h)	備 考
値賀歩道橋 ↓ 外 津	1	23		中 通 ↓ 値賀歩道橋	25	23	
	2	22			26	22	
外 津 ↓ 串入口	3	20		値賀歩道橋 ↓ 今村橋	27	22	
	4	23			28	22	
串入口 ↓ 串 崎	5	19		29	23		
	6	20		今村橋 ↓ 今村交差点	30	22	
串入口 ↓ 風呂尾呂交差点	7	23			31	22	
	8	24		32	22		
	9	21		今村交差点 ↓ 値賀川内入口	33	24	
	10	20			34	22	
風呂尾呂交差点 ↓ 名護屋中学校	11	19		35	22		
	12	23		値賀川内入口 ↓ 浅木場交差点	36	21	
13	30		37		23		
名護屋中学校 ↓ 値賀川内公民館	14	21		38	21		
	15	21		浅木場交差点 ↓ 値賀川内公民館	39	22	
	16	20			40	21	
	17	19		41	21		
値賀川内公民館 ↓ 値賀川内入口	18	20		42	22		
	19	22		値賀川内公民館 ↓ 中 通	43	22	
今村交差点 ↓ 中 通	20	23			44	23	
	21	23		45	23		
今村交差点 ↓ 中 通	22	21		46	22		
	23	20		47	23		
今村交差点 ↓ 中 通	24	23		中 通 ↓ 外 津	48	22	
					49	21	
				ルート全体		22	

空間線量率測定 サーベイ・ルート図



第2023-1回

環境試料の放射能測定結果

1 測定条件

(1) 核種分析

- a 測定器 Ge (Int) 多重波高分析装置
(セイコー・イーゲーアンドジー MCA-7a)
低バックグラウンド放射能自動測定装置
(日立製作所 LBC-4602)
低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置
(日立製作所 LSC-LB8)
- b 測定期日 2023年 4月 1日 ~ 2023年 6月30日
- c 測定方法 放射能測定法シリーズ (文部科学省)
「放射性ストロンチウム分析法」 (平成15年4訂)
「放射性ヨウ素分析法」 (平成8年2訂)
「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」
(平成4年3訂)
「環境試料採取法」 (昭和58年)
「ゲルマニウム半導体検出器等を用いる機器分析のための試料の
前処理法」 (昭和57年)
「トリチウム分析法」 (平成14年2訂)
に準じた。

2. 測定結果

分類	試料名	採取年月日	単位	核種別放射能強度					備考
				⁹⁰ Sr	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁶⁰ Co	
海産生物	たい (八田浦周辺)	2023.5.16	Bq / kg 生	-	-	ND	0.086	ND	-
	いか (")	2023.5.17	"	-	-	ND	0.028	ND	-
	さざえ (")	-	"	-	-	-	-	-	-
	なまこ (")	-	"	-	-	-	-	-	-
海底土	わかめ (")	2023.4.14	"	ND	ND	ND	ND	ND	-
	ほんだわら類 (")	2023.4.17	"	ND	ND	ND	ND	ND	-
	1・2号放水口付近	-	Bq / kg 乾	-	-	-	-	-	-
	1・2号取水口付近	-	"	-	-	-	-	-	-
海水	3・4号放水口付近	-	"	-	-	-	-	-	-
	3・4号取水口付近	-	"	-	-	-	-	-	-
	1・2号放水口付近	2023.4.10	m Bq / 〇	0.70	ND	ND	1.6	ND	ND
	1・2号取水口付近	2023.4.10	"	0.88	ND	ND	1.4	ND	ND
陸水	3・4号放水口付近	2023.4.10	"	-	ND	ND	1.7	ND	ND
	3・4号取水口付近	2023.4.10	"	-	ND	ND	1.5	ND	ND
	ダム水	-	"	-	-	-	-	-	-
	志礼川(値賀浄水場)	2023.5.15	"	-	ND	ND	ND	ND	-
土壌	岸壁側	2023.4.4	Bq / kg 乾	-	-	ND	6.5	ND	-
	正門南	2023.4.4	"	0.95	-	ND	11	ND	-
	九電今村寮	2023.4.4	"	1.7	-	ND	8.0	ND	-
	ダム底土	2023.4.4	"	0.29	-	ND	4.7	ND	-
植物	米 (普恩寺)	-	Bq / kg 生	-	-	-	-	-	-
	米 (下宮)	-	"	-	-	-	-	-	-
	かんしよ (普恩寺)	-	"	-	-	-	-	-	-
	かんしよ (今村)	-	"	-	-	-	-	-	-
畜産物	松葉 (敷地内)	2023.5.10	"	0.085	ND	ND	0.029	ND	-
	ほうれん草 (今村)	2023.4.25	"	-	ND	ND	ND	ND	-
浮遊じん	牛乳 (浜野浦)	2023.5.16	Bq / 〇	-	ND	ND	ND	ND	-
	正門南	2023.3.31 ~ 2023.6.30	m Bq / m ³	-	-	ND	ND	ND	-

(注) ND --- 検出限界未満を示す。

発電所職員等に対する教育訓練の実施状況

(2023年度 第1四半期分)

I. 玄海原子力発電所九電社員

(1/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考	
					実施時期	人 数		
職 場 外 教 育	原子力発電訓練センター	初期訓練	原子力関係基礎理論教育（講義） 各設備機器の構造機能教育（講義） 運転操作訓練（講義及びシミュレータ訓練）	プラント管理課員 発電第二課員	2023/4~6	4	前期より継続及び 来期へ継続	
		再訓練	一般コース		運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	2023/5	3	
			上級コース		運転操作訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	2023/6	4	
			監督者コース		監督者の指揮命令、判断能力の訓練 （講義及びシミュレータ訓練）	2023/4	6	
			実技試験コース		運転操作訓練 監督者の指揮命令、判断能力の訓練・試験 （講義及びシミュレータ訓練）	—	—	
	メーカー	必修技能研修	一・二次系、制御、電気設備に関する知識・必修技術の習得	設備管理課員 必修第二課員	—	—		
		品質管理研修	非破壊検査に関する知識・検査技術の習得		—	—		
	研究所	日本研究開発機構 原子力基礎研修	原子炉研修一般課程、基礎課程、放射線防護基礎コース等のコースによる原子力に関する知識・技術の習得	技術系要員	2023/6	1		
		発電所	保安規定教育	原子炉施設保安規定の理解と遵守事項の周知	全所員 （所長は除く）	—	—	
			放射線防護教育	放射線防護に関する知識の習得、遵守事項の周知	放射線業務従事者	—	—	
防災教育			防災組織等に関する知識の習得、防災意識の高揚	全所員 （所長は除く）	—	—		
安全協定教育			安全協定の内容に関する周知 社会の動向、安全協定等	全所員	—	—		
	消防訓練 （防火・防災対応）	火災発生時、災害等発生時に自衛消防組織による迅速な消火活動及び避難等が十分機能することの確認	全所員 （当直は除く）	—	—			

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 教 育	発 電 所	避 難、 救助訓練	傷病者発生時の救急活動及び原子力災害時の避難活動が的確かつ迅速に処置できることの確認	全 所 員 (当直は除く)	—	—	
		原子力防災 訓 練	非常事態発生時に発電所として対処すべき必要事項の処置並びに防災体制、組織が総合的に機能することの確認		—	—	
		火災防護、 内部溢水、 火山影響等、 そ の 他 自 然 災 害 対 応 教 育	火災、内部溢水、火山影響等及びその他自然災害(地震、津波及び竜巻等)発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		有毒ガス 発生時の 対応教育	有毒ガス発生時の措置に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	—	—	
		通報連絡 訓 練	異常発生時等に社内外の関係先への確かつ迅速に通報連絡できることの確認	関 係 者	—	—	
		危 険 物 保安教育	危険物の取扱い及び防火管理に関する意識の高揚		—	—	
		アクシデント マネジメント 教 育	重大事故等及び大規模損壊発生時における原子炉施設の保全のための活動に関する教育	全 所 員 (所長は除く)	2023/6	10	
		要員養成 教 育	原子力訓練センターにおける訓練	設備管理課員 保修第二課員 発電第二課員	2023/4~6	135	
			安全作業及び品質管理教育	関 係 者	—	—	
		導 入 教 育	新入社員教育 〔 発電所の概要及び従事者として必要な安全協 定等の机上教育並びに実務教育 〕	新入社員全員	2023/5,6	18	来期へ継続
転入社員教育 〔 発電所の従事者として必要な保安規定、安全 協定並びに品質保証等の机上教育 〕	転入社員全員		2023/4~6	23			
放射線業務従事者指定時等の放射線管理教育	放射線業務従事者 に指定する者		2023/4~6	21			
職 場 内 教 育	要員養成 教 育	技術系各課の業務遂行に必要な実務教育	技術系各課配属者	2023/4~6	配属者 全員	来期へ継続	
	緊急処置訓練 (模擬操作訓練及び処置の検討)	プラント管理課 発電第二課 当直員全員	プラント管理課 (1回/2ヵ月) 発電第二課 (1回/月)	プラント管理課 及び 発電第二課 当直員全員			

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
職 場 外 電 育 所	発 電	成立性確認訓練	重大事故等対応に係る成立性を確認するための訓練	運転員、運転対応要員、保守対応要員、緊急時対策本部要員(指揮者等)、特重施設要員	2023/4, 5	423	
		重大事故等発生時の対応に係る総合的な訓練	重大事故等発生時のプラント状況の把握、的確な対応操作等の総合的な訓練	運転員、重大事故等対策要員、緊急時対策本部要員、特重施設要員	—	—	
		大規模損壊発生時の対応に係る総合的な訓練	大規模損壊発生時のプラント状況の把握、情報収集、的確な対応操作の選択及び緊急時対策本部要員指揮者等、特重施設要員及び専属自衛消防隊との連携を含めた総合的な訓練	任意の緊急時対策本部要員(指揮者等)、特重施設要員、専属自衛消防隊	—	—	
		アクシデントマネジメント訓練	大規模損壊発生時に通常の指揮命令系統が機能しない場合等の事態を想定した教育訓練	所長、原子炉主任技術者、緊急時対策本部要員(指揮者等)、発電第二課長、保守第二課長 他	2023/6	7	
		力量維持訓練	重大事故等及び大規模損壊発生時に、適切に対応できるように力量を維持するための訓練	保守対応要員、緊急時対策本部要員(指揮者等を除く)	2023/5, 6	301	
		緊急処置訓練(特重施設)	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝突等による大規模損壊発生時における各種緊急事象の発生に対する模擬操作訓練及び処置の検討	特重施設要員	2023/4~6	627	
		特重施設の操作に係る成立性確認訓練	原子炉格納施設等への故意による大型航空機の衝突等による大規模損壊発生時における特重施設による対応操作を確認する訓練	特重施設要員	—	—	
	特定核燃料物質防護対策教育	核物質防護設備の運用及び異常時の措置に関する知識の習得、核物質防護に対する意識の高揚	全 所 員	—	—		
職場内教育	特定核燃料物質防護対策訓練	発電所防護上の緊急時に社内外への迅速な通報連絡及び対応等の所要の措置を講ずることができることの確認	関 係 者	—	—		

II. 協力会社玄海事業所従業員

(4/4)

区分	場所	項目	内 容	対 象 者	実 績		備 考
					実施時期	人 数	
協力会社への教育	発 電 所	安全衛生協議会	安全衛生管理の推進を図るため、災害防止等の安全確保意識の啓蒙と相互間の連絡、調整	(玄海原子力発電所の管理職) 安全衛生協議会加盟会社の責任者	2023/4~6	54~58	
		避難・救助訓練	救急処置の訓練を九電の訓練に併せて実施	協力会社玄海事業所の放射線管理責任者及び作業責任者	—	—	
		消防訓練(防火・防災対応)	消火活動、防災活動の訓練を九電の訓練に併せて実施	協 力 会 社 玄 海 事 業 所 の 従 業 員	—	—	

別 添 4

立コミ本第156号

2023年7月31日

佐 賀 県 知 事

山 口 祥 義 様

九州電力株式会社

代表取締役

社長執行役員

池 辺 和 彦

玄海原子力発電所4号機 照射試験片輸送容器付属品（上部駆動装置）の輸送について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

かねてから当社事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は、玄海原子力発電所4号機の照射試験片輸送容器付属品（上部駆動装置）の輸送について、別紙のとおり計画しておりますので、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、ご連絡申し上げます。

今後とも、一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

「照射試験片輸送容器付属品（上部駆動装置）」の輸送について

玄海原子力発電所4号機の原子炉容器内に装荷されていた原子炉容器照射試験片の各種試験と評価を実施するため、玄海原子力発電所からMHI原子力研究開発株式会社へ照射試験片輸送容器付属品（上部駆動装置）の輸送を行います。

1. 輸送区間

輸送元：九州電力株式会社 玄海原子力発電所（佐賀県東松浦郡玄海町大字今村字浅湖 4112-1）
輸送先：MHI 原子力研究開発株式会社（茨城県那珂郡東海村舟石川 622 番地 12）

2. 輸送期間（予定）

発送年月日：2023年8月7日（月）
到着年月日：2023年8月9日（水）

3. 輸送物等

(1) 輸送品

照射試験片輸送容器付属品（上部駆動装置）

(2) 輸送方法

陸上輸送（14tトラック：1台）

輸送業者

- ・統括者：三菱重工業株式会社
- ・責任者：株式会社 上組

(3) 輸送容器

a. L型輸送容器 1個

b. 寸法、重量及び放射エネルギー

型式	容器寸法	重量 (収納品含む)	放射エネルギー (⁶⁰ Co換算量)	容器表面 線量当量率	備考
L型	1,400 mm×850mm×600 mm	約600kg	2.11×10^4 Bq	0.005mSv/h以下 (1μSv/h) ※	照射試験片 輸送容器付属品 (上部駆動装置)

※〔 〕内は評価値

以上

別 添 5

立コミ本第165号
2023年8月8日

佐 賀 県 知 事
山 口 祥 義 様

九州電力株式会社
代表取締役 池 辺 和 男
社長執行役員

協定書の覚書に基づく連絡について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、「原子力発電所の安全確保に関する協定書」第5条第5号に基づき、
別添報告書のとおり連絡いたしますのでご査収ください。

敬 具

報告書内容

1. 核燃料物質の払出状況 (その都度)

以 上

核燃料物質の払出状況

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン（新燃料）
払出工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		玄海原子力発電所 第1号炉
払出年月日		2023年6月8日
払出数量		28体
受入工場又は事業所	名称	Springfields Fuels Ltd. Springfields 成型加工工場
	所在地	Springfields, Salwick, Preston, PR4 0XJ, UK
運搬者名		原子燃料工業株式会社（輸送統括）
化合物又は混合物の名称 及びその形状		二酸化ウラン及びガドリニア入り二酸化ウラン 燃料集合体
払出の原因		新燃料の再利用

核燃料物質の払出状況

九州電力株式会社

核燃料物質の区分		低濃縮ウラン（新燃料）
払出工場又は事業所	名称	九州電力株式会社 玄海原子力発電所
	所在地	佐賀県東松浦郡玄海町大字今村
原子炉名		玄海原子力発電所 第2号炉
払出年月日		2023年6月8日
払出数量		12体
受入工場又は事業所	名称	Springfields Fuels Ltd. Springfields 成型加工工場
	所在地	Springfields, Salwick, Preston, PR4 0XJ, UK
運搬者名		原子燃料工業株式会社（輸送統括）
化合物又は混合物の名称 及びその形状		二酸化ウラン及びガドリニア入り二酸化ウラン 燃料集合体
払出の原因		新燃料の再利用

(参考資料)

核燃料物質の払出について

2023年6月8日に玄海原子力発電所より払出した新燃料に係わる供給当事国は下記のとおりです。

記

1. 原子炉名

玄海原子力発電所 第1号炉

2. 国際規制物資の供給当事国

アメリカ合衆国、
アメリカ合衆国・ユーラトム

以上

(参考資料)

核燃料物質の払出について

2023年6月8日に玄海原子力発電所より払出した新燃料に係わる供給当事国は下記のとおりです。

記

1. 原子炉名

玄海原子力発電所 第2号炉

2. 国際規制物資の供給当事国

アメリカ合衆国、
アメリカ合衆国・ユーラトム

以上